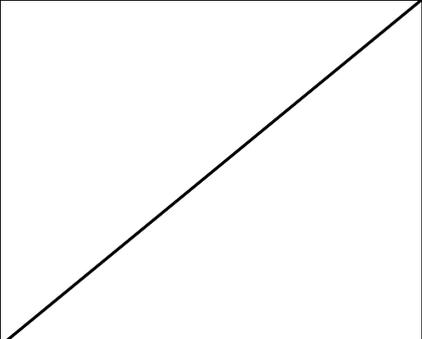


児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 2024年 2月13日

事業所名： ゆめクラブ

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースが十分な確保されているか	職員自己評価（総数7） はい6 どちらともいえない1 利用者が増え、手狭になってきている。製作や調理等をするスペースとパソコン、学習をするスペースを確保し、活動内容に応じて、分かれて活動できるように工夫している。	保護者評価（総数33） はい30 どちらともいえない3	児童センター、神社や公園、買い物に行けるショッピングセンターと地域には、活動に利用できる環境が豊富である。 活動に応じて、地域の公園・公民館・図書館等も、もっと活用していきたい。今回、クリスマス会に飾磨小学校の体育館を借りることができ、有り難かった。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	はい6 どちらともいえない1 児童指導員を加配して、個々の子どもたちに丁寧に対応できるように配慮している。	はい29 どちらともいえない4	今後とも、児童指導員を加配を継続していく
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備になっているか	どちらともいえない3 いいえ4 建物の2階に位置しているので、どうしても階段を上って通所しなければならず、車椅子等を利用する肢体不自由児には対応できていないのが現状です。	はい20 どちらともいえない12 いいえ1 出入口が一か所しかないので、もう一か所避難口がほしい	階段には、手すりを設置しているが、緊急時には、1つの階段しか利用できないのが現状である。緊急時の避難経路確保のため、2階ベランダに避難梯子を設置した。 2階階段入口に防犯カメラを設置した。人の出入りを見えるようにし、防犯・安全確保に活用して
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間となっているか	2階のスペースだけでは、十分な活動が保障できないので、晴天時は、近くの公園等に遊びにでかけている。		曜日ごとの集団編成の工夫をしているので、どうしても利用人数のばらつきがある。土曜日は、毎回10人の定員いっぱいの状況です。 それぞれの家庭の状況もあり、簡単に利用日を変更できないのも現状です。来年度に向けて、保護者の相談の上、利用日の調整も進めていきたい。
1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	はい7 月1回、スタッフ全員での会議・研修を持っている。		
2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	はい7 外部評価は実施できていない。		

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
業務改善 3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	はい7 月1回のスタッフ会議・研修 兵庫放課後ネットの研修会等、様々な研修会に参加してもらえるように、時間を確保し、参加費・交通費等の費用を保障している		今年度は、虐待防止、感染症予防対策、業務継続計画、発達セミナー等、研修を受講しました。 スタッフ研修 4月「放課後等デイの現状と教育の連携」 5月「児童虐待防止」 6月「感染症対応と予防」 9月「子ども理解と支援」支援計画の作成 10月「子ども理解」職員の専門性とは 11月虐待防止委員会の報告「虐待防止に向けて」 「虐待防止チェックリストとヒアリハット」 12月「実践研修」事例検討 1月業務継続計画の作成、業務改善・法令遵守の徹底

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画が作成されているか	はい6 どちらともいえない1 日々、児童の様子や保護者からの連絡を報告し合い、児童発達支援責任者へ集約している。 保護者との連携を密に、年2回の保護者面談を行い、保護者ニーズの把握に努めている。 適切な実態把握のためには、アセスメントツ	はい2 9 どちらともいえない1 い いえ1 無回答1	
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画が作成されているか	はい7 支援計画の作成、共有、見直しを随時行っている。	まだ、利用しはじめたところなので、わかりません	社会性を育むソーシャルトレーニングや中高生に焦点を当てた大人プロジェクトの取り組み・女子会、性教育の取り組み等、発達課題に合わせたプログラムを工夫している。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容が設定されているか	はい7 支援計画の作成、共有、見直しを随時行っている		
適切な支援の提供	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援が行われているか	はい7 支援計画の作成、共有、見直しを随時行っている。		今までゆめクラブで取り組んできた実践例を集約し、「支援マニュアル」を作成し、保護者とともに共通理解を進めている
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	はい3 どちらともいえない4		
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	はい6 どちらともいえない1 休業日の調理実習・午後の活動、行事の計画については、利用者が主体的にかかわれるように、工夫している。	はい3 2 どちらともいえない1 子どもたち一人ひとりがやりたいことを皆で話し合い活動されていると思います	子どもたちの安心の居場所、生活・遊び・集団活動を大事に取り組んでいる。 感染状況を考慮し、パン作りうどん作り、おやつ作り等も少しずつ取り組んでいる。長期休業中には、カレー作り、おにぎり作り等、調理実習も再開している。 夏休み期間には、性教育の取り組みや手芸教室、作品展にむけた作品づくりにも取り組んだ。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	はい6 どちらともいえない1 行事実施後には、まとめ・反省をまとめ、スタッフ会議で検討している。		かかわり、達成感が広がるように活動を工夫している。 公園での集団活動や運動・自転車等、外での活動を工夫している。年齢や課題に合わせて活動を工夫している。 ハロウィンパーティ、クリスマス会やお出かけ等、子どもたちが行事に主体的に活動できるように、計画・準備を一緒に取り組んでいる。 外部のボランティアグループの支援も受け、腹話術・手品、手作り昔遊びなどにも取り組んだ。

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
供 t (続 き)	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	はい7 児童の来所までの時間を活用して、児童の共通理解を図るとともに、活動の打ち合わせをしている。	
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	はい1 どちらともいえない6 平日は、支援の終了が遅いこともあり、なかなか当日に振り返りの時間がとれない現状がある。 それぞれの利用者の様子を記録し、午前中や次の支援開始前に時間をとって共有化している。	
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	はい6 どちらともいえない1 日々のサービス提供の記録を記入し、保護者との共有を行っている。 児童の様子や活動の内容を日誌に記録している。 行事ごとにアンケート・反省を行って記録にまとめている。	
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	はい7 定期的に、相談支援事業所と連携し、実態把握、共有をしている。 学校との連携を務め、学校での様子の把握に努めている。 年に2回の保護者面談と併せて、支援計画の見直しを行っている。	
関	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	はい7 学校との連携を何よりも重視している。 連携支援会議を提案し、相談支援事業所ともに行っている。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有	はい6 どちらともいえない1 保育園から小学校、小学校から中学校、それぞれの移行の時期、必ず、関係機関の連携をつないでいる。	学校との連携を大事に、学期に1回程度、学校との連絡、情報の把握に努めていく

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
係 機 関 と の 連 携	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	はい7 就労の場の障害福祉サービス事業所との連携は、ほとんどできていないのが現状である。 。就労後も利用者との連絡を大事にし、時々、 変所して交流を続けている		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	はい7 ルネス花北との連携、積極的に研修会等にも参加している。		
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	はい4 どちらともいえない3 地域との交流を大事に取り組んでいる。 行事には、飾磨学童どんぐりクラブ、近隣の放課後等デイサービスに声をかけ、一緒に取り組んでいる。	はい23 どちらともいえない10 子どもによっては、地域の放課後児童クラブには知っている子がいるので、一緒にはなりたくない様です。	ゆめクラブのある地域（飾磨地域）で、地域との連携を大事に取り組んでいる。飾磨学童どんぐりクラブとは、まつり等一緒に取り組み交流を進めている。 それぞれの居住地域で交流を大事にしていければと思うが、保護者の力だけでは難しいと思うので一緒に取り組めることを考えていきたい
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	はい3 どちらともいえない4 地域の行事にも積極的に参加し、地域との交流を大事に、情報発信にも努めている。 ゆめクラブ作品展、ゆめクラブまつりの実施。		4年ぶりに、ゆめクラブ「オーラナイト」として、地域との交流行事を持つことができた。飾磨どんぐりクラブの子どもたちや保護者・家族だけでなく、多くの地域のみさんの参加があり、ゆめクラブのことを知っていただき、交流ができ、大事な取り組みになった。今後とも、年間行事の中で、継続的に進めていきたい。 保護者には、ゆめクラブの子どもたちの活動や作品を知ってもらおうと、施設内での作品展示を計
保 護 者	1	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	はい6 どちらともいえない1 契約時に、実費負担についての説明書を配布提示し、説明して同意を確認している。		
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明がなされたか	はい7 契約時、年二回の保護者面談時、支援計画を示しながら、確認を行っている。	はい30 どちらともいえない3	
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の家族支援プログラムが行われているか	はい3 どちらともいえない4 随時、保護者相談に対応している。 ペアレントトレーニング、家庭支援プログラム等の設定はしていないが、保護者会での研修、一緒に学び合う機会を多く作っている。	はい31 どちらともいえない2 日々の中では、なかなかゆっくりお話する機会が少ない	日々、児童と過ごす保護者との関係が、児童の発達にとってとても大切である。 児童理解の共有、関係づくりが大切と考える。保護者がいつでも安心して相談できる体制を工夫していきたい。保護者と一緒に性教育の学習会を開催した。今後も、家族支援プログラム等の学習会も開催していきたい。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解ができているか	はい7 連絡帳で、日々の活動内容、様子を連絡している。		連絡帳で、日々の活動内容、児童の様子を連絡させてもらっている。 できるだけ電話やメールでも連携を取れるように工夫している

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
への説明責・連携支援	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言等の支援が行われているか	はい6 どちらともいえない1 日々、相談に対応している。 学校生活の見学等も大事に、児童理解の共有に努めている。 年2回の保護者面談を実施している。	はい3 2 どちらともいえない1 送迎のいった時だけで、時間がないので聞きにくい	
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携が支援されているか	はい7 保護者会を設置している。 保護者全体会の開催、個別の課題での学習会 要望に基づく研修会を行っている。	はい3 1 どちらともいえない1 いいえ1 私は保護者会へはまだ参加できていないので、機会があれば行きたいと思います。 なかなか参加できませんでしたが、保護者会や交流をすることはとてもありがたく、行きたいなあと考えています。みなさんの子育てについてお話を聞きたいです	年3回の保護者会全体会を開催している。なかなか参加できない保護者があり工夫が必要である 保護者会の内容や活動について、参加されていない保護者もわかるように、ホームページにも掲載していく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応がなされているか	はい7 苦情対応マニュアルの作成を作成し、掲示、相談窓口の公表を行い、対応をしている。	はい2 8 どちらともいえない5 今まで、苦情を聞いたことがありません。	ホームページに掲載し、入口には相談窓口等の掲示も行っているが、周知できていない面もある。 相談窓口等のプリントを再度配布するとともに、気軽に何でも相談してもらえ、職員間でも情報を共有し迅速に対応できるように努力していきたい
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	はい7	はい3 1 どちらともいえない2 面談時は詳しく聞けるが、普段は機会が少ない	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報について、子どもや保護者へ発信されているか	はい4 どちらともいえない3 ホームページにお知らせや活動報告を掲載し、随時、プリント、ゆめクラブ通信の発行も行っている。	はい3 3	個人情報等の扱いの観点もあり、ゆめクラブ通信をなかなか発行できていない。ホームページでお知らせする形になっている。 面談や保護者会の場で、活動報告等、日々の様子を写真等でお知らせできるようにしていきたい
	10	個人情報の取扱いについて十分な注意されているか	はい6 どちらともいえない1 個人情報の扱いに関する規定を作成している。職員採用時には、研修を行い、誓約書の記入を徹底している。 「個人情報利用同意書」により、保護者への説明をし、同意を得ている。	はい3 2 どちらともいえない1	写真の掲載や利用者の名前の表示については、その都度、確認をとっていききたい。 学校との連絡や利用者個人の個人情報の扱いについて、行政からの厳しい指導も受けました。 保護者との日々の連絡、合意を大事に、再度、自己点検を進めて行きたいと思います
	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者へ周知・説明されているか	はい7 職員研修を実施し、周知徹底を図っている。	はい3 2 どちらともいえない1	ホームページに掲載し、相談窓口等の掲示を行っている。すべての保護者に、マニュアルすべてを配布はしていないが、注意喚起のプリントは、その都度、保護者に配布している。 利用者・職員の安全安心と支援の継続を最優先に、災害時、感染症対応の計画を保護者と共に作成していく

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか	はい7 総合防災計画、避難計画を作成し、年2回の防災訓練を行っている。	はい3 2 どちらともいえない1	年二回の訓練を一週間をかけて行っている。訓練時に、保護者に説明連絡をしている。保護者と一緒に災害時の支援カードの作成に取り組んでいる。
	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	はい7 外部の委員、第三者委員、保護者も含めた虐待防止委員会を設置しました。委員会にて、虐待防止のための取り組みと研修計画、身体拘束の適正化に向けての論議等を進めている。職員研修を実施している。		今年度、虐待防止委員会 10月と3月虐待防止委員会の記録報告を職員・保護者に配布。虐待防止に向けた取り組みをテーマにスタッフ研修を、11月、12月に実施。チェックリストによる自己点検、ヒアリハット事例検討を行う
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	はい7 年2回の虐待防止委員会開催と合わせて、身体拘束適正化に向けた論議を進めている。配慮が必要な利用者の支援について、保護者との合意のもとに、支援計画に記載している		虐待防止委員会にて、身体拘束についての基本的考え方、やむを得ず身体拘束を行う場合の手順について、確認しています。職員間での共通理解を図るためのフローチャートの作成、記録用紙の整備を行います。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	はい3 どちらともいえない4 契約時に、保護者からの聞き取りにより、実態調査をしている。		
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	はい6 どちらともいえない1 ヒヤリハット対応マニュアルを作成して、適切な対応ができるように、努めている。報告書を作成し、職員で共有できるようにしている。		
	満足度	1 子どもは通所を楽しみにしていますか		はい3 0 どちらともいえない3 工作やおやつ作り等、やりたいことをさせてもらい楽しんで通っています。生活リズムの一部になっています。いつも楽しみにしており、助かっています。外出や料理など、特別な活動・行事は特に楽しみにしています。精神的な成長もあるのか、時々行く渋るようになりました。
2 事業所の支援に満足していますか			はい3 0 どちらともいえない2 無回答1 たくさん経験子どもたちの中でさせていただき、自主性が育っています。個別でしづらい（不器用なこと）を助けていただき訓練してもらえ時間がほしい。本人がうまく伝えることができないので、活動の中でコミュニケーション・受け答えの状況	

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
その他	1 ホームページに、時々のお知らせや活動報告もさせていただくように工夫しています。 保護者と情報共有ができ、連携が広がることをめざしていますが、いろんな内容が伝わっていますか。		はい30 無回答3 ホームページを見て、今日何をするのかわかり、確認をさせてもらっています。 ホームページを見落としやすいので、すみません	ホームページを見ることができない方もある。すべての保護者と情報共有ができるように、個別にも丁寧に対応していきたい。文書での配布も、その都度していきたい。 保護者がゆめクラブの活動の関心を持ち、双方が発信をしていけることが大事なことである。 毎月初めに、ホームページの内容更新を行っている。行事予定、お知らせ等、より見やすい、情報共有できる。ホームページの作成に向け、更新していきたい。
	2 困難を家庭だけで抱え込むことがないように、保護者会を開催して、保護者相互の交流を進めるとともに、事業所内相談支援の実施、日々の連絡を密に相談にも対応してきましたが、相談できる体制でしたか。 また、困ったこと、相談したいことがあれば記入してください。		はい31 無回答2 高校生活に向けて、早寝は難しくても早起きできるようにしてほしい。 通所を楽しみにしているので、今のところ困っていることはありません。 懇談は様々なアドバイスをしていただき、大変ありがた、将来のことの不安も相談できる場所があることで、気持ちが軽くなりました。 衣服の着脱やみだしなみ、忘れ物、トイレの問題など、どう対応したらいいかいろいろ教えて	いつでも相談を受けれるように保護者とのコミュニケーションを密にしていきます。 今後とも、学校・関係機関との連携を大事に取り組んでいきたい。 保護者会での研修にも取り組んでいきたい。お互いの悩みや不安を共有し、安心して子どもたちと向かい合えるように、部会等にわかれての研修・交流を進めていきま